

成人祭の開催について（案）

資料 4

平成 31 年 1 月 15 日

民法が改正され 2022 年 4 月から成人の扱いが、これまでの 20 歳から 18 歳に引き下げられる。この改正に伴い、「成人祭」の開催の在り方について、次のように検討を進めている。

⑦ 対象者は、当該年度で、満 20 歳を迎える者

満 18 歳、19 歳での成人祭は開催しない。

① 式の名称を「成人祭」から（案）「二十歳の集い」に改める

⑦ 開催時期は、1 月の成人の日とする

1. 理由

① 民法の改正で成人の扱いが、18 歳となるが、ギャンブル、飲酒及び喫煙の解禁は、これまでどおり、20 歳としている。

② 18 歳時は、殆どの人が高校 3 年生で、受験或いは就職活動シーズンと重なり、落ち着いて参加しにくい。

③ 日本の伝統衣装の和服に親しむことのできる機会であるが、高校生には負担が大きい。

④ 平成 31 年 1 月 14 日 NHKニュース

『若者の 7 割 成人年齢引き下げ後も 20 歳での成人式希望』（日本財団 アンケート調査による）複数回答による理由 「受験に重なるから」63% 「お酒を飲んだりたばこを吸ったりできないから」38% 「金銭的に余裕がない時期だから」34%

⑤ 平成 31 年 1 月 14 日 FNNPRIME

『成人式 18 歳は望まず？ 2022 年に成人年齢引き下げ』

街で若者にアンケートを行った結果、18 歳で希望する者は居なかった。「まだ、お酒が飲めない。」「受験とかで来られないとか、行かない人が多くなる。」等

2. 主な法律による成人年齢

	現行	2022 年 4 月以降	備考
民法	成人年齢 20 歳 (契約当事者年齢) ・20 歳未満の人が契約しても親などの「親権者」が承諾しないと無効にすることができた。 ・結婚年齢 男 18 歳 女 16 歳	成人年齢 18 歳 (契約当事者年齢) ・親の同意なくとも契約できる携帯電話や車の契約 ローンを組む クレジットカードをつくる等 ・結婚年齢 男 18 歳 女 18 歳	2022 年 4 月 1 日施行
公職選挙法	選挙権年齢 18 歳以上		2016 年 6 月 19 日施行
公営ギャンブル	禁止年齢 「未成年者」 競馬法・モータースポーツ競走法・自転車競技法・小型自動車競走法	禁止年齢 「20 歳未満」	民法の施行に合 わす
未成年飲酒 禁止法	(第 1 条第 1 項) 満二十年ニ至ラサル者ハ酒類ヲ飲用スルコトヲ得ス		変わらず
未成年者喫 煙禁止法	(第 1 条) 満二十年ニ至ラサル者ハ煙草ヲ喫スルコトヲ得ス		変わらず
国民年金法	納付義務年齢 20 歳以上		変わらず
道路交通法	中型免許 20 歳以上 大型免許 21 歳以上		変わらず
少年法	適用年齢 20 歳未満		引下げ検討中